

AFP 産生胃癌の腫瘍細胞悪性度の評価

なが み はる ひこ
長 見 晴 彦

キーワード：AFP 産生胃癌，腫瘍生物学的悪性度

要 旨

AFP 産生胃癌は外科領域で経験することも珍しくはないが，仮に治癒切除し得ても予後不良である。今回，著者がこれまでに経験した AFP 産生胃癌と AFP 非産生胃癌につき臨床病理学所見，腫瘍生物学的悪性度につき検討した。術前血中 AFP 値 20 ng/ml をカットオフ値として，AFP 値 20 ng/ml 以上かつ切除標本にて癌部を抗 AFP 抗体を用い免疫染色を行ない染色陽性例を AFP 陽性群 (n=12)，他方 AFP 20 ng/ml 未満，かつ免疫染色陰性症例を AFP 非産生群 (n=72) とし両群において病理学的所見，また腫瘍悪性度を Ag-NOR 染色，Feulgen 染色による DNA 解析にて判定した。結果は AFP 産生胃癌にて v 因子，術後肝転移，術後早期死亡が有意に高値であった。腫瘍の生物学的悪性度は AFP 産生胃癌において Ag-NOR score, Ag-NOR area, 4cER % も有意に高値であり腫瘍増殖能の高さが窺えた。

はじめに

血中 alpha-fetoprotein (AFP) は通常は肝細胞癌，Yolk-sac 腫瘍などの腫瘍マーカーとして日常臨床で繁用されている。一方血中 AFP 値が高値を示し，免疫組織学的に腫瘍細胞中に AFP の局在を証明しえた AFP 産生胃癌症例も多く報告され胃癌の中でも悪性度の高い臨床症状を示す。一般に胃癌の発生機序として *Helicobacter Pylori* (H.P) 感染症や食事性因子との関係が指

摘され¹⁾，他方，糖尿病をはじめ生活習慣病と胃癌との関連についても論文が散見される^{2,3)}。

AFP 産生胃癌は臨床的には肝転移を合併し予後不良である。そこで今回著者がこれまで経験した原発性胃癌の中で検索し得た AFP 産生胃癌と AFP 非産生胃癌の病理所見との関連，両群の切除標本の癌部腫瘍細胞悪性度について分子レベルで比較検討した。

対象と方法

著者が島根医科大学第一外科在籍中に経験した原発性胃癌が対象例に含まれる。術前血中 AFP 値 20 ng/ml を cut off 値とし術前血中 AFP 値

Haruhiko NAGAMI

長見クリニック

連絡先：〒699-1311 雲南市木次町里方633-1